議会運営委員会会議録

- 1 日 時 令和6年3月28日(木)
会議時間 9時56分開会 11時53分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：橋本晃明
委員：只野敏彦、川上 均、中河つる子、深沼達生
議長：山下清美
- 4 事務局 事務局長：大尾 智、次長兼総務係長：川口二郎
- 5 議 件
(1) 議会活性化について
(2) その他
- 6 会議内容 別紙のとおり

【開会 9：56】

(1) 議会活性化について

委員長（橋本晃明）：只今より議会運営委員会を開催する。今日は議会の活性化について改めて日程を取って検討しようということで前回決めたものになる。これまでの経過については前回配られた、すごく字数があつて大変だと思うけれども、皆さん参加していただいた部分ばかりなので、この経過を踏まえてということやっていきたいと思う。議会の活性化のための会議ということなので、少し具体的に入っていききたいと思うが、まず、これからどういうスケジュールでやっていくかというものを協議して、検討項目の確認、それから何を先にやるかということ、最終的にはスケジュール表を作成していきたいと思う。そして、何について取り組むかという部分については、前回川上委員から資料いただいているが、日程的にも過ぎているし、芽室町にも行って色々質問したりした中で、既に清水の議会として取り組んでいるものもあるので、改めて具体的に何を検討していくかということをお皆さんから出していただきながらスケジュールを作っていきたいと思う。川上委員からは本日を起点とするバージョンを作っているのだから説明願う。

川上委員：皆さんに配らせていただいたのだが、進め方について案として見ていただきたいと思うけれども、最初の確認事項については、主体はこちらの議会運営委員会が中心となってやる、そして今後全員協議会で確認後速やかに議論を進めるということで、やるということは全員協議会の中で確認されているので具体的に進めていっていいと思う。2番目の調査方法になるけれども、前回配られた中身でまず報告書の調査事項の検証と、合わせて議会活性化に向けての研修会及び先進議会の視察研修の実施、そして大項目ごとに論点整理し議論をまとめる、大項目というのは次の下の表にもあるが、一番大きいのは住民参加と情報共有と機能強化という部分だと思う。住民参加というのはいかに住民の皆さんに参加してもらうかということをお主体に、ここで言う議会報告会、模擬議会、そして今後議論したいと思う出前講座だとかその他の団体との懇談会、そして議会モニター、サポーター制度をどうするか、大きく4点について今後議論したらいいのではないかと考えている。情報共有の項目については、今、本会議だけ動画公開をしているので、生中継も含めてそれを各委員会の公開等にしてはどうかということと、広報の戦略ということで議会だよりをどのような形で

改善していくかということも議論していく必要があると、そして次のページであるが、機能強化ということで、これは議題に登っているIT化の推進、それと、やるかどうか分からないが、女性議員の拡大に関しての議論、3番目として議会機能の活性化ということで、一般質問と答弁書のあり方とか議員研修のあり方、常任委員会のあり方についても議論したらどうかということである。その他の項目としては最初に出ている視察研修と基本項目、今まで議題になっていた議員定数、議員報酬、政務活動費、そして最終的には議会基本条例をどうするかということについて議論していったらいいのではないかと思っている。スケジュールについては私の方で勝手にこんな感じでどうかということでもらっていた。そしてこれらの大項目ごとに論点整理して議論をまとめながら、全員協議会の報告をしながら中間報告と最終報告を実施していくということである。3番目として審議方法であるが、調査検討項目ごとに1回では難しいと思うので、2、3回程度審議を行って、審議回数を確保するということと、大項目終了ごとに中間報告を挟み、各常任委員会、全員協議会で協議を行っていただく、最終報告を令和8年9月としたい。なぜ9月とするかということ、条例改正に関するものも含まれれば、9月中で最終報告して議論して最終的に12月の議会で条例改正を進めていくということになるので、このようなスケジュールになると思っている。以上、簡単であるが私の方から今後このような形で進めたらどうかということで提案をさせていただいた。

委員長：案ということで川上委員から出されているが、これについて何かあるか。

只野委員：ある程度こういうスケジュールとか項目を作った方が進みやすいというのは確かだと思うし、その都度色々不具合はないと思うけれども、出れば直せばいいだけのところなので、そのとおりに進めていっても問題はないと私は思う。

議会事務局長：細かい点になるのかもしれないが、IT化の推進のところではタブレット化であるが、実は去年も色々議論があったけれども、多分今年度は町長部局の方でもタブレットの導入、例えば庁内会議の時に使うということで進めていこうという議論になっているので、タブレット化をやらないという方向性、議論してタブレットが必要ないという結論になるとは思えないが、タブレット化の部分については、今年度前半の部分で先に議論していただいて、必要性とか、実際に導入するのであればこのようなものかという話を先にいただいた方が来年度予算に向けた町長部局との調整もできるというようには思った。

川上委員：私の予定では令和7年の3月、4月になっているけれども、これでいくと確かに予算に間に合わない、そういう部分では早めの議論を進めていった方がいいと私も思う。

委員長：タブレット化と言っているけれども実際に物をどうするかということなどもあるので、町長部局と同じにするのか、それも含めて町村によっては議会単独で入れているところもあるけれども、やるのであれば一緒の方がデータも入れやすいと思うので、タブレット化については議論を少し早めるという形で進めていくということにしたいと思う。その他あるか。あとは住民参加とか開かれた議会とかいう中では、議会報告会とか模擬議会とかだいたい例年の時期が定まっているものについては、個別に進めていくということも必要だと思うが、それでよろしいか。

(「はい」との声あり)

議会事務局長：模擬議会のあり方については、多分学校との協議も必要なので、例えばこれからこのスケジュールどおりに協議していただいても、次年度以降のことになってしまうと、今年度については4月以降の部分が学校はスケジュールができていますので、この部分は次年度以降どうするかという取り組み、前に議論があったように、例えば3年生ではなくて2年生まで広げて欲しいとか、一部には中学生もどうかみたいな議論も出ていたので、早目に議論したとしても取り組みについては令和7年度以降の形になると思う。議会報告会については、すぐ話をしていただければ、去年あのような形でやったけれども、極端な話をすれば、一昨年以前の全体的なものに戻すということもあると思うので、去年はグループワークという取り組みをしたけれども、その方法自体どうするかということも議論するのであれば、早目に議論していただければ今年のところから間に合うという気はする。

委員長：模擬議会については高校にこちらから1回挨拶に行ってという形で、新たにもう一回議論していく部分については次年度以降の取り組みの中に活かされるという形で進めていきたいと思う。あと優先的に取り組むべき事項でもし皆さんの方からあればお願いします。

深沼委員：モニター会議の部分で、実際指摘された部分の中で人数が少ない、これをどうやって増やしていくか、意見として無作為でやるという話も頂いた中で、実際これからどうやっていくかという部分、今回の任期は今年度一杯で終わるので、来年度以降に向けた形でどのような形で進めてくか、それと、わかりやすいようにホームページでもう入っているか。

議会事務局長：議会モニターという項目を立てて、その中にモニターとはという部分と、この間のモニター会議の議事録と、結果をまとめたものの3本をここに載せる

予定で、今企画の方に話をして、この部分は企画の方で業者に作り直してもらわなければならないので、それは近々直るので、直し次第お知らせしたいと思うけれどもその作業は進めている。議事録とかは担当課で積み上げていけるけれども、新しい項目立てをするところは企画にお願いして、委託業者に直してもらわなければならないけれども、1回直ればそこからの積み上げはこちらでできるので少々お待ちいただければ、そんなに時間かからないでできると思っている。

川上委員：情報共有で動画公開の関係も含めて、これは予算絡む問題であれば早目にやって、議論して来年度予算に間に合うなら。

委員長：本会議場でやればカメラに映ると言っても、それは議論のあり方とどっちが大事なのかという部分になると、円卓で距離感のあまりない中でお互いの顔が見える対面する形でやるから委員会のいいところなので。

議会議務局長：国会みたいに喋るたびにアップにならなくても、全体的に映しておいてという方法もあるかもしれないが。

委員長：カメラが1台で済むのか、2台ないとだめであったりも含めて。

議会議務局長：発言者にズームするためには、本会議場にあるようなシステムでないと難しいと思う。来年度からやりたいとなると、今年度の前半ぐらいまでに先に議論していただく必要があると思う。再確認だが最後に最終報告、全部まとまってから用意ドンではなくて、やれるものはどんどんやっていくということか。

委員長：今年決めたからといって来年ということになるのか、このような形でやりたいとなっても見積もり出してもらったらまだ無理というようなこともあるかもしれないので、皆さんで協議していく中で、これは明日にでもやろうというものができればとり入れていけばいいと思う。その辺は協議を経ながらというのがいいと思う。議論は早くできるものは早くして、全部早くなってしまうと間に合わなくなるので、とりあえず優先的にやる部分を先に出してもらって、それでまた組んでいくといいと思う。

中河委員：予定を見ると出前講座、団体懇談会が新しく入るようになっていて、9月、10月となっているけれども、模擬議会もこのような時期になるかもしれないと色々混んでくるという感じがする。相手があることなので。

委員長：スケジュールというのはここで開催するというのではなくて、これを目途に話

し合いをしようという形なので、それ自体もまたこれから組みなおすことになると思う。

議会事務局長：まずは必要かどうかというところから入っていくということ。

川上委員：今までの話を聞いた中で、スケジュール的に議会報告会は早目にやらないとならない、そして予算の関係でいくと、7月から8月ぐらいにかけてか、それとも5月から6月にかけてはIT化の部分と動画公開や情報共有の部分の先に議論しないと、役場全体の予算の関連付けで間に合わなくなるという部分もあるので、その辺を優先に考えていけばどうかと思う。

委員長：意見を聞いた中で、議会報告会とIT化推進と委員会中継については早いうちから優先して進める。あと、ここに載っていない項目で検討すべきというものがあれば出していただきたい。なければ、今出してもらったものをスケジュールに入れて、あとは事務局と私の方でスケジュールを詰めていくということによろしいか。その他に検討してほしいというものがあれば随時ご連絡いただきたいと思う。それと、ここでは過去のスケジュールに入ってしまったけれども、事前研修とか先進地視察研修とかについて、経費がでるのかどうかという部分。

議会事務局長：例えばIT化のタブレット使用であれば、浦幌とか今年上士幌が新たに入れる、その辺であれば管内なので旅費もかけずに見に行くこともできるし、先に議論する部分でいけば、芽室町であれば動画とかどのような形でやっているのかとか、タブレットの部分であれば割合すぐにでもできると思う。

川上委員：例えば浦幌だったら議会の報告会みたいなものも既にやっているし、タブレット化も始めているので、合わせて一緒にまとめてそういうのを聞きに研修に行くということも可能だと思う。できればスケジュール合わせて色々な項目をまとめてやった方が効率いいと私は思う。

委員長：検討していく項目に合わせて視察した方がいいというものがあれば行くということも含めながら行くということ。

議会事務局長：浦幌はタブレット化もしているし、議会報告会も昨年浦幌でやっているところも参考にしながら、同じようにグループディスカッションとか小グループに分けた中でやっていたから、参考にしながら去年はやらせていただいたので、タブレット化と議会報告会のあり方ややり方については浦幌で見られると思うし、委員会中継については芽室でいけると思う。

委員長：大まかに皆さんから聞き取った内容でスケジュールを組んでみたいと思う。よろしいか。

(「はい」との声あり)

(2) その他

委員長：他になければ次にいきたいと思う。先日の全員協議会において、予算委員会における質疑方法について議論になって、今後勉強会を開催していこうというのが共通認識になったと思うが、この勉強会についてどのように進めるかということで皆さんの意見をいただきたいと思う。自主勉強会に講師を招くとすればどのような方にするか、費用については公費の予算にするのか、議員会の経費で行うのかということ、実際にいつやるのかという点で皆さんからご意見いただければと思う。

川上委員：平場で議論してもなかなか決まらないと思うので、委員長と事務局、議長も含めて決めてもらって、その中で進めてもらっていいと思う。

委員長：具体的にどうするかということもあるけれども、どんな方がするかということも含めて経費はどこから出すかということもある。事務局的な都合もあると思うので。

議会事務局長：私なりに考えてみたのは、なかなか自分たちでやるといっても、議員それぞれの考え方とか解釈の仕方とかもあると思うので、精通した方にこういうものだということをご教示いただいて、それを皆さんで納得した中で今後進めていくという方法がいいだろうと、それで、全国の町村議長会だと組織がある、議事運営の調査部みたいなのところがあって、そこで色々な事例とかもご承知で経験豊富な方、議会運営に携わっている事務局の方がいて、たまたま昨年の新任事務局長研修会でその方が講師で来られて、かなり分かりやすいお話をされていたので、もし可能ならお招きしてと思って、昨日、道の議長会にお尋ねしたら、かなり全国から色々な研修を頼まれている方みたいで、なかなか単独の町村では無理だと、最低3つ4つぐらいでなら来るけれども、あと北海道には来るので、都道府県単位だと来るというような感じなので、私が想定していた講師の方は難しいと思う。ただその方は旅費だけ持てば謝礼不要で来ていただけるということ、10月に事務局長研修会があるので、その時に北海道に来られるという事なので、タイミングが合えばうちにも寄ってくださいみたいな話も

できなくはないと思いつつも、講師となるとなかなか専門的な方というのは難しい。あと大学の先生とかも想定できると思うが、議会とはという大きな部分はいいけれども、この間議論になったような質疑のあり方とかそういう部分になると、なかなかお話していただくには最初に申し上げた方みたいな方がよろしいのかなと思って問い合わせしたけれどもハードルが高い部分があるというのが今のところである。

川上委員：そういう人が難しいのであれば、例えば芽室には毎年来ているみたいだが。

議会事務局長：芽室は大学の先生である。

川上委員：その時、スケジュール聞いておいて清水に来てもらうとか、議会改革だけではなく含めてだけでも、例えば神原教授とか昔よく話題に出ていた人を札幌から呼ぶとかであれば、そんなに旅費もかからないだろう。

議会事務局長：そういう方であれば、わざわざご自分の仕事休んでくるということではなくて、仕事の一環で来られる立場の方であれば、謝礼は逆に必要ないという形、旅費だけ持てば、さっき私が申し上げた方もそうであるが仕事の一環で来られる方は多分謝礼が必要なく旅費だけで来ることができるから、そうすれば道内であれば数万円だし、道外から来られてもそんなにかからないと思う。

委員長：神原先生の他にも議長会の事務局をやっていた方で大学に行っている方もいるし。

川上委員：そういう部分含めてここで議論しても仕方ないので、その辺は委員長と議長と事務局で相談してもらって進めてもらっていいと思う。

委員長：どんな方かというのは相手もあることなので、こっちでお願いしても都合が悪ければということもあるので、具体的にどの方にするのかというのは事務局サイドで色々お願いしてもらわなければならないと思うが、予算関係はどのような方向でやるかということ。

議会事務局長：当初予算としては講師分の旅費等をとっていない。こちらから行くのであれば旅費を削ってというのでもいいけれども、来てもらうとなると、旅費という形ではなくて報償費として旅費分を出すという形になるので、そうなれば予算流用したりという手続きも必要になってくるので、財政担当と相談しなければならない。あとは議員会として皆で研修しようということで議員会の経費を使うということであれば割合出しやすいが、ただそうなれば議員会の研修会を今年は講師を招いての研修に差し替えるという形を取らなければ、経費的には、

お金の出所は出しやすいと思うけれども、考える時間が必要である。

委員長：議員会でやるというのはそぐわないという気もするけれども、流用できれば本当はいいと思うけれども、あとは総務課と相談してみないといけないという場面も出てくるかもしれないと思う。時期的にはいつ頃がいいかというのはある程度調整していく中で、早ければいいが遅くなっていくのであればその旨皆さんに報告しながら進めていきたいと思う。

中河委員：皆で勉強し合って、自分たちが分かったことで意見を言えるような、そういうように多くの人になった方がいいと思っている。議員必携も読むことあるけれども、理解が全部できないことがあるので、本当に詳しい人に来てもらってそういう話を聞けたら勉強になると思う。

委員長：これについては今話したように進めさせていただく。その他のその他になるけれども皆さんの方から何かあるか。

川上委員：今日はスケジュールだけということか、それとも具体的に例えば議会報告会のあり方について議論を進めるのかどうなのか、時間がない中でせっかく集まったのであれば。

委員長：今日はスケジュールをどうするかということが主題であるけれども、まだ時間あるので、優先的にやると言った中での報告会をどのように持っていったらいいかというのは、皆さんがやりましようと言っていたいただければやりたいと思っているがどうか。暫時休憩する。

【休憩 10：36】

【再開 10：50】

委員長：休憩前に引き続き会議を開く。議会活性化の中での優先順位に日程的なものを加味して、議会報告会と町民との意見交換会について話を進めてまいりたいと思う。報告会と意見交換会については開催要領というものが定められているので、昨年からグループワークに方式を変えたけれども、基本的にはこの要領の中で逸脱しないような形でやっていたということ、事務局から説明願う。

議会事務局長：委員長からお話あったように開催要領がある。昨年方法を変えたけれども、一応この議会報告10の次第にあるとおり報告をして、質疑応答についてはご覧くださいて終わった部分もあったが、意見提言を聞いてということで、聞くパターンは、前年度までは全体的な一問一答であったが、今回からはグループ

ディスカッションということで、そこを当てはめて次第については同様に実施したという形である。あと、資料の配布もした。それから12番のところで意見提言の処理方法についても議運で各委員会に振り分けて委員会で検討していただいて全員協議会で最終確認して、必要なものは議長から町長へ通知し、その対応を求めると書いてあるけれども、今回についてはこういう意見があったので参考にとということで町長の方にもお知らせをしたところである。議会だよりで公表するということであるので、5月発行号で概要について載せていく予定である。その他のところで、この辺が今までのパターンでやっていたので、発言が特定の議員に偏らないように対応するところがそれぞれのグループの中では座長の方にお任せした部分があったと思うけれども、基本的にはグループディスカッションをやっているが、この要領の範囲の中で行ったという形で昨年も実施したところである。

委員長：開催要領について変えた方がいいとか、この中でできるのであれば良いとか、色々皆さんの方でもしあれば出していただきたい。

川上委員：もしグループ討議の形式で今後進めるのであれば、その他の1番と2番目に関しては削除するか何かする必要があるのでは、そぐわなくなってしまうような感じはする。

只野委員：今のは川上委員に賛成である。この部分は去年やって、自分もなかなか意見を述べられないというのは、どこまで述べていいのかわからないし、司会をやっているのではなかなかできない部分もあるけれども、他の議員も喋れないというような束縛ではないけれども何かというような気がして、ここの部分は削除なのか訂正なのかは皆で考えるとして、変えたほうが良いと思う。

委員長：議会報告会の資料の部分については1番のとおりでいいと思うが、意見交換会の中で議員個々の意見を述べることができないというのでは話にならないので、そこを明確化するか、削除するというのはどうかと思うが、発言が特定の議員に偏らないようにという部分も、議員個々の見解を求められた場合についてのことであって。

議会事務局長：前段で、議会で決定した事項はという但し書きというか前提があるし、(2)についても形成過程の事項等についてという但し書きがついていて、いずれも議会として今決めたり、議会として今議論していることについてはという但し書きがある。なので、ばっさり切ってしまうと、なくてもそういう話ができないと言えればいい話なのかもしれないが。

委員長：限定なので、そこはうまく理解されるように断っておく必要はあると思う。

川上委員：そう考えた場合、開催要領の中でできることはできるので、特に開催要領をいじることなくこの範囲内でやれることをやるということでもいいと私は今思った。

深沼委員：一番の部分は、議会報告会については決まっていることを説明する部分なので、それに対しての意見はこのとおりだと思うので、文言は一応残しておいた方がいいと思う。

只野委員：そこは各自で理解していればいいわけだから削除しても問題はないと私は思っている。去年は初めての側だったので、どこまで自分の意見を喋っていいのだろうというところが非常に分からないし、今まで議会報告会を見ても個人の意見は言えないという感じで見えていたので、決定した事項についてはというのは、各自が覚えていけば、わかっていけばいいことだから別になくてもいいと思うが、うまく訂正できなければそれでもしょうがないが、なくてもいいと私は思う。

委員長：1番の決定した事というのはすでに報告するという事になっているのでいいと思うし、2番については司会をしている人のファシリテーターとしての役割はこうだということについて書いてあると思えばこれもあった方がいいという気はしている。

中河委員：私もこういう文はあった方がいいと思っている。あった上で議会報告会に出るという大抵のこととかをわきまえた上で出るということではあった方がいいと思う。

委員長：特段今の時点ではこれで進めていくということで、具体的なものが出てきた時に直した方がいいということになればまた議論したいと思うけれども、とりあえずこの形のままでできるということでまいると思う。あと、議会報告会の反省を踏まえた中で今年取り組むべき課題とかがもしあれば。

議会事務局長：報告会の項目としてはあり方というのがあるが。

委員長：議会報告会をやるということ、これはやっていくということでもいいか。

(「はい」との声あり)

委員長：あとはスケジュールとテーマ。

議会議務局長：川上委員、対象の検討というのがあるがこれは。

川上委員：これは先程言ったように団体で、例えば商工会とか農業団体とか、団体をある程度絞ってやるのかどうかも含めて検討したほうがいいのではということ、今までは一般町民の人を対象だったけれども、それも含めながら範囲を広げたらどうか、議論したらどうかと思う。

委員長：一応ここで言っている各種団体とかグループというのは、過去の実績に基づいて案内は出している。団体の長と副をやられている方が参加してくださっているところも何団体かあったと思う。出てくる意見もその団体の主張が色濃く出ていた班があったりとか、そういうのはあったと思う。

川上委員：私が言っているのはその団体特有の課題とかがあると思う。商工会なら商工会の関係を意見交換する、要するに絞って、そういう意味の団体との意見交換会ということで、一般町民は広くテーマを決めて色々な団体の人が入ってくるかもしれないけれども、広く門戸を開いてやるという形で、団体というのは絞って、テーマごとにそれぞれの課題について意見をさらに深めていくというようなことでやっていった方が今後いいのではということで提案させてもらったところである。

議会議務局長：（３）の団体懇談会との違いはあるか。

川上委員：３番目の出前講座、団体の懇談会というのはこちらから足を運んで、来てもらうのではなくて。こちらから要望があった時に行って話をするというような形のもので、全体に呼びかけてきてもらうのとは違う方法だと、そういう方法もどうかということでテーマに載せてみたものである。

只野委員：団体の要望があれば私は出向いてもいいと思う。要望がないところには行く必要はないけれども、要望があれば広く議会報告会という名前になるのか分からないけれども行くべきだと私は思う。

委員長：町の出前講座に議会が含まれていたような気がするがなかったか。暫時休憩する。

【休憩 11：07】

【再開 11：15】

委員長：休憩前に引き続き会議を開く。議会報告会の中での対象というのと、出前講座、

団体懇談会での各種団体、グループということについては、議会報告会の方は呼びかけて来ていただくという形の中で進める、その中で対象ごとに追加するかどうかというのは今後検討していきたいと思う。出前講座というのは要望があれば出かけていくという形のものということで分けて考えていきたいと思う。議会報告会の開催時期について、昨年はずっとより遅くなったけれども、例年は5月だったと思うが、いつぐらいがいいのかというのがもしあれば。

只野委員：5月でも10月でも私はどちらでもいい。どっちがいいとかはないので、やれるスケジュール関係、やれる範囲のところ、去年はやれる時間がなくて5月は断念したのかわからないけれども、10月になったので、やれる時期さえ合えば。

議会事務局長：改選期で議員が新しくなるので、新しくなってから色々話をする中でいくと、準備等含めて、私が異動してきた時には5月はやらないということになっていた。そこから色々やり方どうしようかと検討すると10月ぐらいじゃないとできなかったというのが正直なところ。

委員長：今年はどうか。

深沼委員：今回、道外研修もある中で、10月となるとぶつかる可能性もあるのではないかなと思うので、できれば9月の定例会前の8月、暑いけれどもその時期めがけてやった方がいいのではないかなと思うが。

委員長：深沼委員からは道外研修の絡みもあるので、8月ぐらいがいいのではないかなということだが。

川上委員：なぜ今まで5月でやっていたかということ、前年度の活動についての報告なので、それでなるべく早くということ、5月にやったと思う、そういう部分でいくと5月にやるのがスケジュール的には大変だけれども順当ではないかなと思う。

委員長：3月で閉めて5月に開催するという考え方であるが。

深沼委員：5月でもいいけれども、この部分で総務産業と厚生文教の各委員会の方に話を持っていかないとダメだと思うので、その時に去年のようにやった方がいいのかどうかという確認も必要だし、いいとなればテーマも決めなければならないので、そうすると5月にやるのであれば4月中に委員会を開いた中でやらないと間に合わないのではないかなと思うがいかがか。

議会事務局長：去年はどんなテーマがいいのか各委員会に諮ってというような話もされて

いた。それプラス周知期間を考えると、来週やるとか再来週やるということにもならないので、もう少し時間があつた方がいいのではないかという気はするので、7月、8月ぐらいであればなんとかいくのではというところと、あとは色々な総会とかがあるので、スケジュールが詰まっているというところもあるが。

委員長：4月はさすがに色々な団体の総会など目白押しで時間が足りない感じなのでどうかと思うが、常任委員におろさなければならないので、そうすると7月か8月ぐらいということで、テーマについては周知する前に各常任委員会におろして、そこでテーマをそれぞれ選んでいただいて、そのテーマに沿って意見交換会を開催する。意見交換会のスタイルとしては昨年やったようなグループワークでやるか、一昨年のスタイルに戻すかというあたりは皆さんの考えどうか。

只野委員：せっかく去年1年あれでやったので、もう1年はそれでやってみて、去年少なかったと鈴木議員は言われたと思うけれども、それで今年がもっと少なくなれば変えればというようになると思うけれども、去年来た方には好評だった話もあるので、今年も同じ方法でやった方がいいと思う。

深沼委員：去年初めてやっていることなので、1回で結果を出すのもどうかと思うので、今回もグループディスカッションの形でやった方がいいと思う。その後に状況を見てどうするかという話し合いをすればいいのではないかと思う。

中河委員：司会の人でも1回目で慣れていない面もあったかもしれないけれども、去年の見ながらだんだんと良くなっていくのではないかと思う。去年と同じようにやったらいいと思う。

川上委員：去年のグループワークのまま進めていいと思う。

委員長：意見交換会についてはグループワークでいくということで、昨年グループディスカッションでやって課題が上がっていたのが、記録がとれていなかったということと、まとめをしないで終わったということで、事務局がそれぞれの班に入っていればそういうこともなかったのだろうが、人数的にも無理だし、そんな中でまとめを作っていくのにすごく手間がかかったということと、せっかく出していただいた意見もどのようなものだったかその班にいた人でも思い出せなかったりするということが起きたので、そこを改善していかなければならないと思う。

議会事務局長：去年は初めてだったので、本当はルールとしてはまず書いていただいて、

それを貼って発表してというところがあったけれども、なかなかうまくそのとおりいなくて、付箋だけ貼ってあるけれども何のことかわからないということが、私がまとめを作る時にわからなかったりした。本当は付箋を貼っていただいて、その付箋について議論していただくということであるけれども、付箋もなしにお話しされている方もいたし、逆に付箋だけ残ってしまって何のことかみたいなものもあったりしたので、そこはやり方のルールを徹底すればいいのと、録音についてはどの程度残すか、録音を録ったら録ったで議事録的に一字一句のものになってしまう。グループディスカッションはそこまで必要なかという気もする。事務局がまとめる時にうまくまとまるような形を取れば一字一句の録音までは必要なのか、スタイルからして。前みたいな一問一答式であれば必要だったかもしれないが、グループディスカッションという方式からしたら、あまり一字一句録音してというのも必要ないのではないかという気は事務局的にはする。別に録音機をグループごとに置いて、全部録音してそれを議事おこししても構わないが。

川上委員：その辺は芽室とか浦幌とかやっているところに聞きながらやるしかないと思う、先進的にされているところを。良い部分があれば見習いながらやっていくということでもいいと思う。

委員長：録音機を置くと喋れなくなってしまう人が出てくる可能性もあるので、そこは去年も悩んだところではあるけれども、あくまでも話の流れをつかむためとか、そういう意味で断って置いておいて、残さないというのであれば別だが、録音機となると構えてしまう人もいると思う。

議会事務局長：去年は初めてやったので、最後まとめを作っていたけれども、全部私の考えでまとめて委員長と相談してこんな形でと進めていったので、まとめについても私が勝手にと言うと怒られるが、そのようなやり方だったので全然踏襲しなくていいと思うし、別のやり方もあると思う。

委員長：それぞれの班に司会と記録が2人ずつ入っていた形になっているけれども、記録係の人ががちり記録を取ってというように言ってなかった部分もあるので、その進め方も課題としてやるかやらないかも含めて、役割分担というものを今年は準備の時間を取って検討していきたいと思う。

川上委員：去年やった部分は、議会だよりには要約した部分は載せると思うけれども、QRコードで全体のものを見られるような形というのはどうか。

委員長：ホームページに掲載できればそこへ誘導することはできると思う。

議会事務局長：既にホームページには議会報告会のまとめた報告書と当日配布した資料、チラシの3点セットは今年度の分が載っているので、そこに飛べるようにということ。

委員長：要約は載せるけれども詳しくはこちらというものをということで。あと、意見交換会の参加者で役場の職員も去年何人か来ていただいた人に入ってもらった形で、そこを参加対象者の縛りとか制限とかをどうするか。

只野委員：私はなくていいと思っている。

委員長：芽室町のグループワークやる時の様式というかでいくと、それぞれのテーマについて現状どうなっているかというところも事実と意見みたく分けて書くようにしていて、最後それをどうしたいかというのと具体的に何を取り組むかという部分については、町民、議員、行政それぞれの役割を書く欄があったと思う。それぞれの立場で書くとすれば、職員の人も来たら参加してもらった方が、そこは立場をわきまえてもらわないとならないところもあるけれども、様式についても理解を深める必要があると思っている。

川上委員：なんとも言えないけれども、これも芽室町あたりに聞いてみて、どのように考えているのか。

議会事務局長：前段の勉強会に行った時に、絞ったテーマにしていたので、そこで今このテーマについてどういう認識を自分たちは持っているのか、現状はどうなのか、それを解決する手段というところまで話をするということ、去年のうちの場合はそれぞれの参加者がどう思っているのかというところで止まっていた。芽室はそれを解決するための方法、手段のためにはそれぞれ3つの立場の人たちがどうすべきかというところまでやるというのが意見交換会のあれであった。うちはそこまではできないだろうと、もらった意見を議会の中で活性化の参考にさせてもらうというところで留めたので、そこまでやっていくとなれば委員長が話したような形になると思う。

委員長：研究してみよう。今ここでどうしたらいいと言うのではなくて、この問題について次回それぞれに調査したり考えたりしていただきたいと思う。その他皆さんの方から報告会と意見交換会についてあるか。

川上委員：今日はいいけれども、次回どういう議論するか、どこまで調べてどこまでやるかということだけ整理しておいた方がいいと思う。

委員長：次回いつやるかというのもあるし、5月は無理で7月から8月に伸ばしたとは言いながらもテーマについては常任委員会に託さなければならないので、あまり時間を置くと常任委員会から議論して上がってきた時にギリギリになってしまうので、7月開催であれば案内をいつ出して、それまでにテーマも決めてというような形の行程表みたいなものを考えて、次の機会か皆さんにメールでご案内するか。

議会事務局長：とりあえずこれを正式なものにするということで、次回の時には正式に決めるということで、今日は先取りして議会報告会の件を話しているけれども、それを正式にということで、今の話だと活性化の議論を進めるのと、今年度の議会報告会のやり方の検討と両方しなければならないと思う、7月、8月にやるのであれば。

委員長：模擬議会の関係も次年度に向けてとは言いながら、高校とも連絡とっていかねばならないと思うし、今後の予定について事務局から。

議会事務局長：昨年も4月入ったら、高校の考えというか、授業というか、進め方の部分を確認しなければならないので、それは議長、委員長と日程合わせてまずは高校に挨拶がてら確認をしに行かなければならないと思う、それは4月入ったらすぐに。

委員長：議会報告会については今日のところはこのぐらいにして、次回の予定が決められるのであれば、暫時休憩する。

【休憩 11：43】

【再開 11：48】

委員長：休憩前に引き続き会議を開く。次回の議会運営委員会は4月17日の10時開催ということでよろしく願います。以上で議会運営委員会を終了する。

【閉会 11：53】